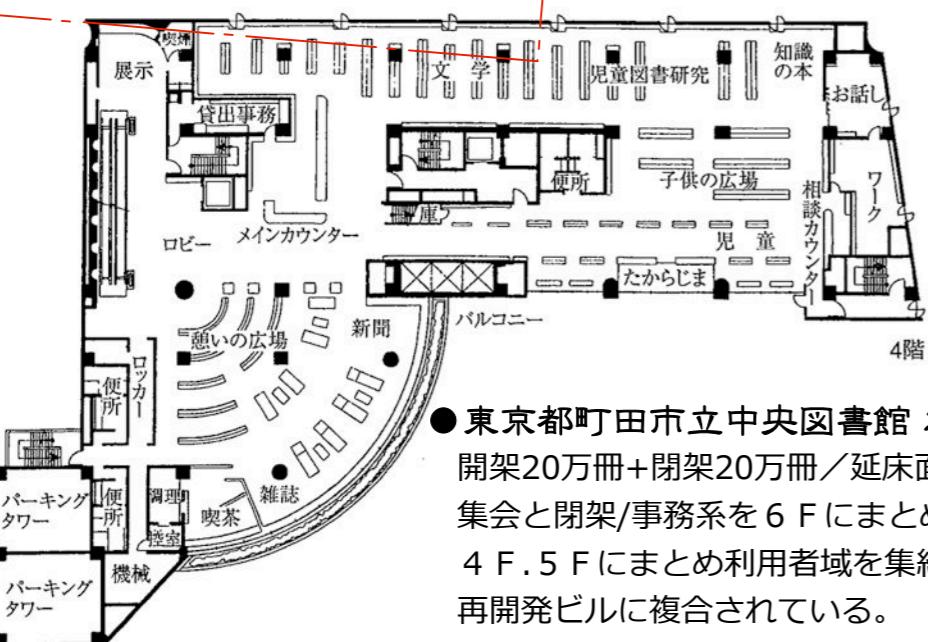
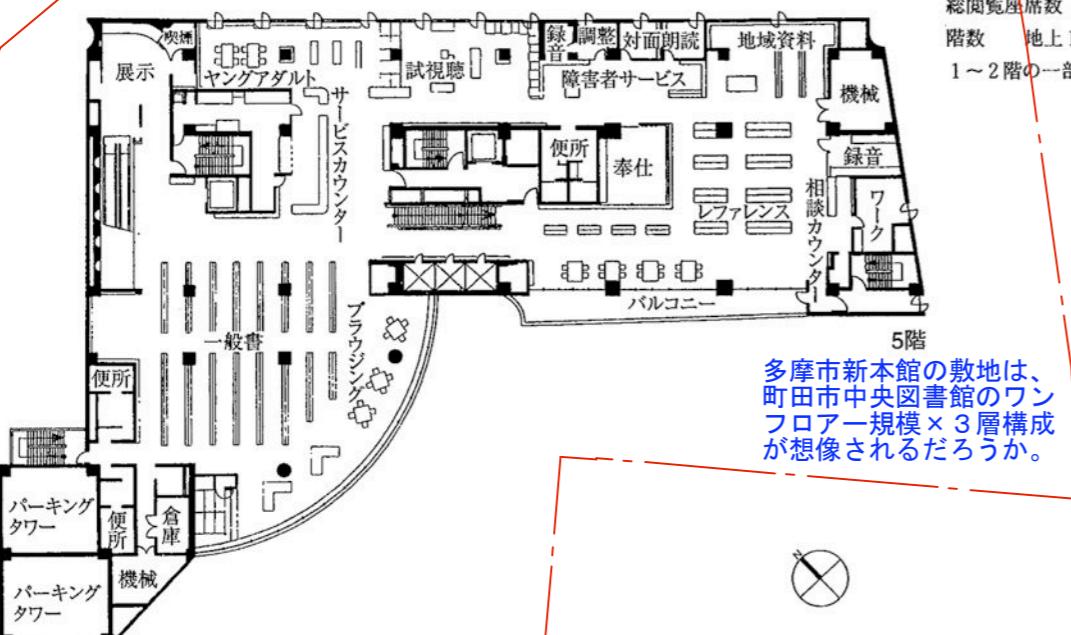
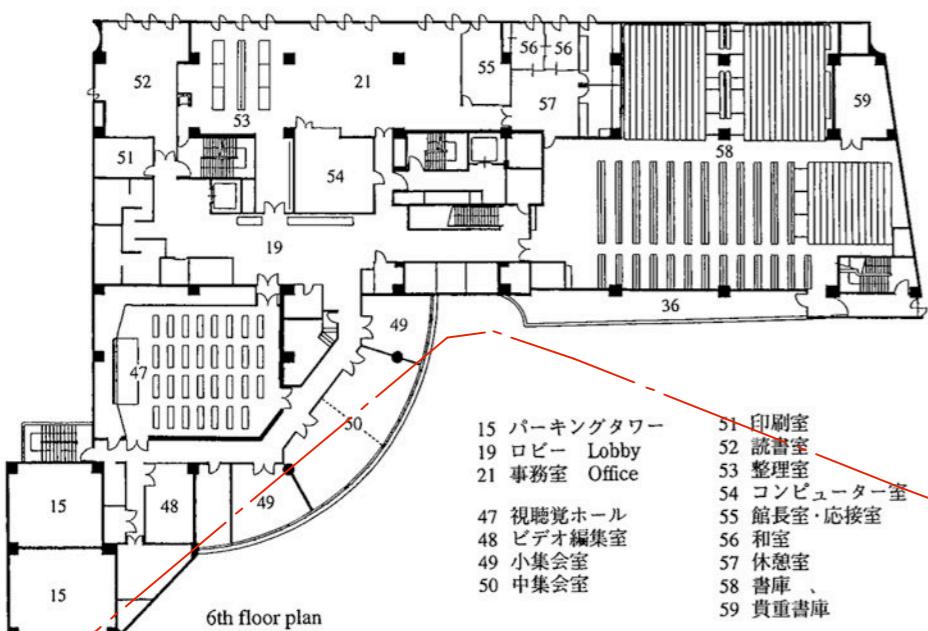


多摩市立図書館本館再構築基本構想 街とつながる新しい本館の活動と環境のかたち／計画敷地に他市施設を置いてみる
●町田市立中央図書館／●武蔵野市立中央図書館

構想イメージのための
同規模施設の例示資料



●東京都武蔵野市立中央図書館：

開架17.5万冊+閉架52.5万冊／延床面積7530m² (地下駐車場1500m³含む)

1~3Fに分けて開架系を置き、B1Fに閉架を置いた。

3F視聴覚室の動線が開架の中で、夜間や閉館時の利用が難しいか。

開館 1995年4月

対象人口 130,300人 (1995年4月現在)

図書収藏能力 開架: 175,000冊 閉架: 525,000冊

敷地面積 3,005.62m²

建築面積 1,526.09m²

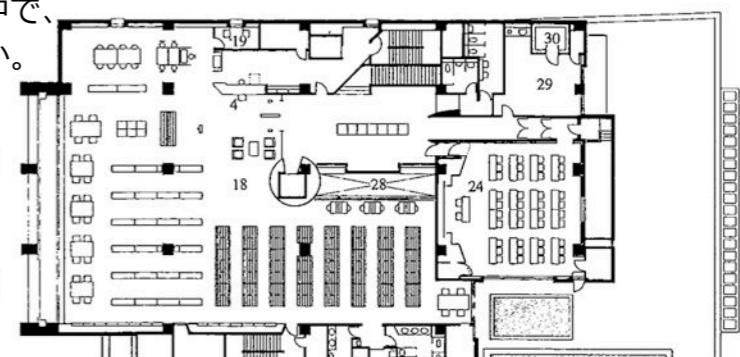
延床面積 7,529.23m²

主要室各床面積 開架・閲覧スペース: 2,451.36m²

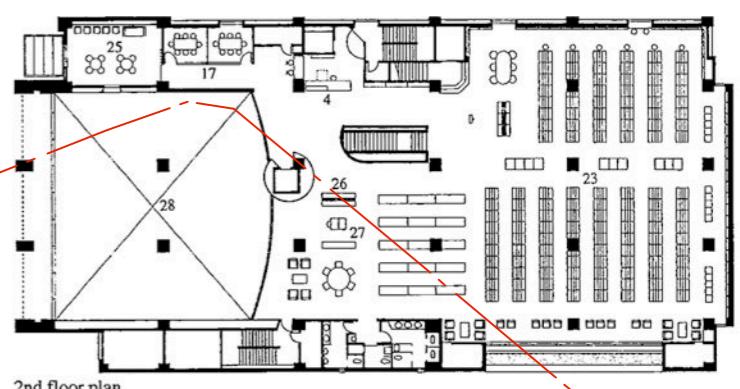
閉架書庫: 1,436.80m² 事務スペース: 707.44m²

総閲覧座席数 240席

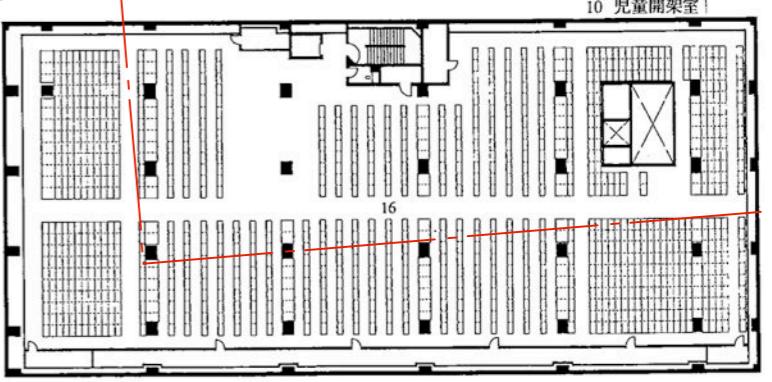
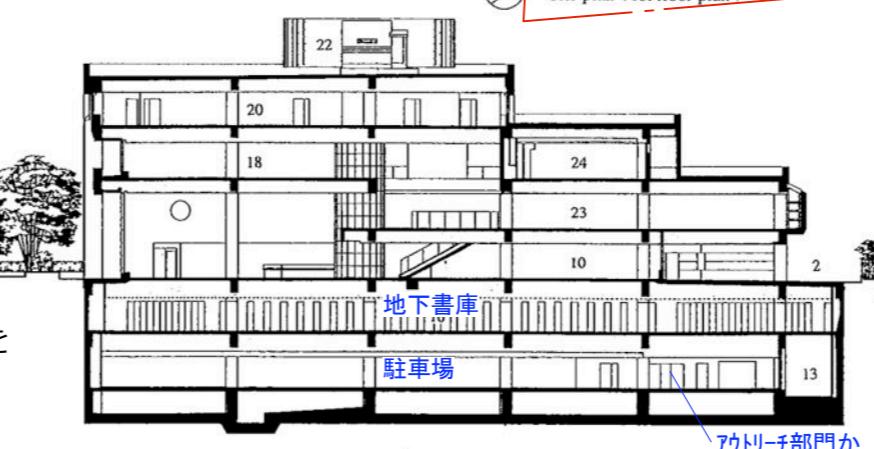
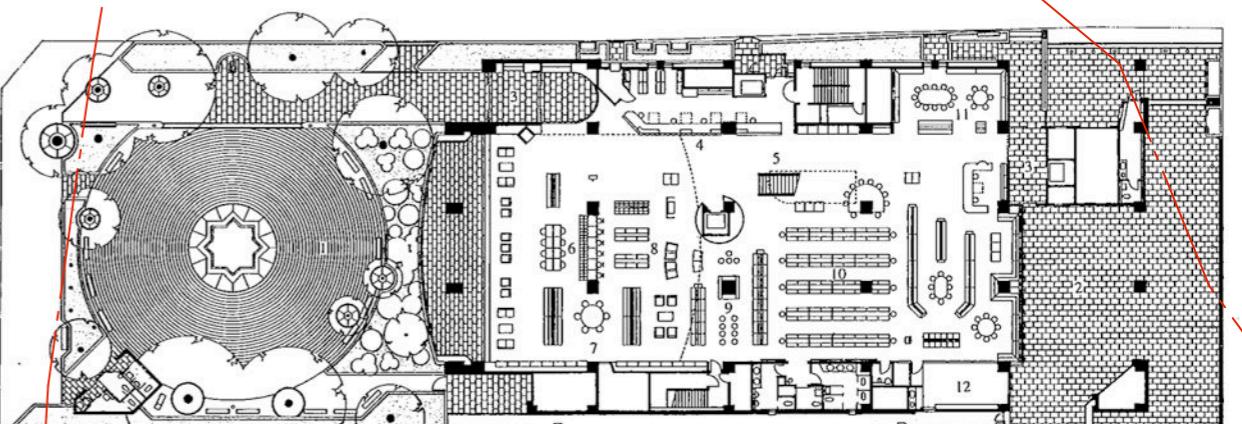
階数 地上4階、地下2階



- 1 広場
- 2 駐輪場
- 3 エントランス
- 4 カウンター
- 5 開架室
- 6 新聞コーナー
- 7 雑誌コーナー
- 8 AVコーナー
- 9 ヤングアダルトコーナー
- 10 児童開架室
- 11 児童学習コーナー
- 12 おはなしのへや
- 13 機械室
- 14 駐車場
- 15 電気室
- 16 閉架書庫
- 17 グループ学習室
- 18 参考資料室
- 19 対面朗読室
- 20 事務室
- 21 コンピューター室
- 22 屋外機置場
- 23 一般開架室
- 24 視聴覚ホール
- 25 談話室
- 26 点字雑誌コーナー
- 27 大活字本コーナー
- 28 吹抜 Void
- 29 ボランティア室
- 30 録音室



多摩市新本館の敷地は、武蔵野市中央図書館の各階平面よりも大きくとれる。開架室の階数が増えると、デスクの数が増え、職員数が多く必要で非効率となる。武蔵野市中央図書館では公園を敷地内にとる要件が設計を難しくしているよう。断面図のとおり、地下2階に駐車場を配置している。



S:1/600